

## 会報50号

	頁
1. ご挨拶	堀内浩太郎 1
2. ソーラー&人力ボート 全日本選手権大会 2006 報告書	深町得三 2
3. 韓国人力船大会 2006 視察報告	深町得三 19
4. 新たな大会会場候補地のご紹介	深町得三 23

## ご挨拶

今年のシーズンを終わり、皆様落ち着いた日々をお過ごしのことと思います。すがすがしい秋晴れの日、どうか来年に向けて新たな夢をふくらませて頂きたいと思います。

今年は初めて海でのレースが行われました。その為、今までの内水面とは違って官公庁や海に係わる諸団体との間で水面の利用、安全確保、その他に関する折衝が一段と数多く、いろいろと煩雑な問題があって大変だったようです。東海大学の皆さんを始め、協会の役員の皆さんに大きなご負担をお掛けしたことを申し訳なく思います。しかし幾多のハードルを越えて海での大会が成功裏に終わりましたことは誇らしく、我々のレースの可能性を拓げたものとして心強く思っています。有難うございました。

今回の会報の記事は三つとも深町理事が書いて下さいました。有難く厚く御礼申し上げます。従来は色刷りの高価なレポートを印刷していましたが、マリンスポーツ財団からお金を頂けなくなって、しかも一方ではお役所に詳細の報告をしなければならないところから深町理事が行き届いた報告書を作って下さいました。内容は以前よりかえて充実していますので、折角ですから今回はその報告書をそのまま載せて、皆様にも見て頂くことにしました。何とぞご活用下さい。

今年も韓国で人力ボートの大会が盛大に行われまして、日本からの出場は今回ありませんでしたが、深町さんが視察に行かれて、詳細な報告を作って下さいました。内容は各チームの様子が描かれていて面白く、個々の艇の様子も良く判ります。それに韓国的人力ボートの技術レベルが上がっている様子も興味のあるところです。

もう一つは新しい大会の候補地についてです。マリンスポーツ財団の方から競艇選手の訓練にも使われている碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターの施設が大会会場としてどうか、と有難いご提案を頂きまして、協会から八木、深町、内山の3氏が視察に行ってくださいました。その結果を載せましたのでご覧下さい。大会の開催場所がますます限られている今日、大変有難いお話だと思います。今後來年の開催地を決める上で一つの候補として考えさせて頂きます。



ソーラー&人カボート  
全日本選手権大会2006  
報告書



*Japan Solar &  
Human powered boat  
Association*

日本ソーラー・人カボート協会

開催日：2006.07.22～23

# 1. 会長挨拶

## 2006年大会を振り返って

日本ソーラー・人力ボート協会  
会長 堀内 浩太郎

ここ数年、競艇場の予定が混むようになって、大会に使わせて頂くことが難しくなってきました。その為、去年は佐鳴湖漕艇場で大会を行いました。大会の3ヶ月前までは開催場所が決まらない状態で、大変に焦ったことでした。

今年は東海大学の寺尾先生がこの状況を見かねて清水での開催を提案して下さいまして、お陰様で無事開催に漕ぎ着けることができました。誠に有難うございました。

しかし清水では海が会場になります。清水港管理局、海上保安部、海水浴場、漁協などとの合意が要る上、国土交通省にお願いして特定水域の指定をして頂かなくては水中翼船の検査、ソーラーボートの免許問題がクリアできません。東海大学側は勿論のこと、協会の方でも初めての手続きが多く、関係者間のメールの交錯を見ていて、本当に開催できるかどうか、はらはらドキドキしていたものです。幸いお役所や漁協など、関係方面の好意的なご協力を頂き、実行委員会関係者の努力が実を結んで立派な大会を開催することができました。高いハードルを乗り越えて大会を成功に導いて下さった皆様に心から感謝申し上げる次第です。

新しい場所での開催でしたが、ソーラーボート、人力ボート併せて28隻の参加を頂き、また韓国、忠南大学の参加を頂いて国際色豊かな、賑やかな会場で友好の輪を拡げることが出来ましたことはこの上ない喜びでした。

また参加された皆様には、慣れない場所での大会にあえてご参加を頂きましたこと、厚く厚く御礼申し上げます。来年もまた同じような華やかな大会を開催致したいと思っております。皆様のご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

## 2. 実行委員長挨拶

### 2006年清水大会について

大会実行委員長 寺尾 裕

清水大会開催に、遠路多数の参加艇および参加者がありましたこと、また開催に当たり関係者の皆様にご協力いただきましたこと、大会が無事に終了できましたことを、心より感謝いたします。それも、特定水域指定がうまくゆきましたのが、この大会の要でありました。運営には、使用水域内への他の海岸使用者への進入をご遠慮願う事前の大会開催通知、これら利用者へのご了解をいただくための地道な努力、レース開催当日をふくめ地道な警備があればこそこの賜のであったことを申し添えます。

今大会は初めての Open Sea での開催、パドックも海浜で、安全対策を含め様々なことが未知数でした。幸い地元のご理解を得、地引き網というアトラクションも折り込め、少しでも大会参加者の皆様に喜んでもらえたのなら実行委員を含め、地元の我々の大きな喜びでもあります。

この大会が地元の観光振興への一端になればとも考えており、各機関に働きかけを積極的に行いました。海のスポーツとして、この大会を根付かせる努力なしには、今後の活動の展開が難しくなるとも考えていたからです。

さらに東海大学海洋学部へは、学部長始め事務系の職員の皆様を始め、船舶管理課、ボランティアを含む多くの参加者およびご協力をいただきました。これについても深くお礼を申し上げます。清水大会の Go Sign は、上野海洋学部長の一言で、これ無しには何も進めなかったと思います。

本大会の主役は大会参加者の皆様であると考え、本大会運営費の見直しを行いました。すこしでも大会参加者に喜んでもらえるよう、ウエルカムパーティ費の充実と方法の検討、参加者に御負担願っていた船舶保険の費用を、大会参加費の中に組み込みました。これも役員会の努力の賜のであったと思います。

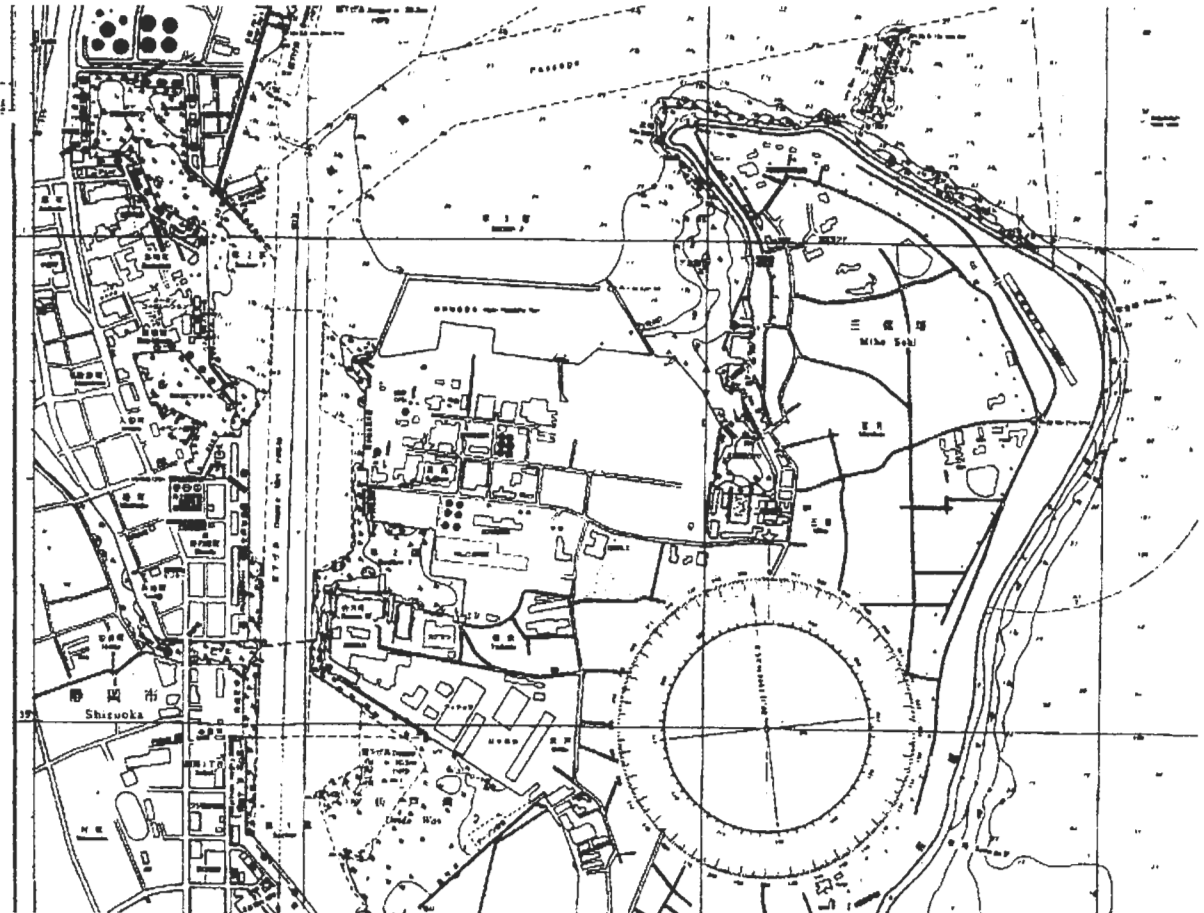
初めてだらけのこと、参加者の皆様にはいろいろご不便や、我々の行き届かない事等、多々あったことと思います。どうぞご容赦ください。

大会中は、残念なことでしたが、天候が優れませんでした。このような環境での大会開催でしたが、参加者の皆様に清水の海を少しだけでも好きになっていただけたらと願っています。また次年度以降、この大会がますます盛んになることを心より願っております。

### 3. 開催場所の地図



会場周辺の地図



レース海面の海図

## 4. エントリーリスト

艇番	クラス	部門	チーム名	船名	200m	一周	30分	一時間
1	ソA	学生	金沢工業大学 夢考房ソーラーポートプロジェクト ソーラーボートレーシング	Golden Eagle 2006	○			○
2	ソA	一般	都田チャレンジ	WHITE HAWK S-12	○	○		○
3	ソA	一般	JRCソーラーボート チャレンジの会	そうらのむべい2006	○			○
4	ソA	一般	ローランドソーラー研究会	SOLAND	○			○
21	ソB	学生	東海大学地球環境工学 ソーラーボートチーム	トウカイスピリットII	○		○	
23	ソB	学生	静岡理工科大学 Shizuoka All-round Technology	knife edge(ナイフエッジ)	○			○
24	ソB	一般	吉田山コケターズ	波に吞れII	○			○
25	ソB	学生	鳥栖工業高校	MOTO I	○			○
26	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2004	○			○
27	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2005Mebius II	○			○
41	人A	学生	長崎総合科学大学 夢の船研究会・人力水中翼船部門	West Gale 06	○	○		○
42	人A	一般	チーム コギト	COGITOR 2006	○	○	○	
43	人A	学生	金沢工業大学 夢考房ポートプロジェクト 4-A H. S. F. C.	海月(かいげつ)	○			
44	人A	学生	ボートに首っただけ	BBB(スリッピー)	○	○	○	
45	人A	学生	忠南大学人力ボートチーム(韓国)	「エピソード2006」	○	○	○	
61	人B	一般	SWING ROLL FLIPER	フリッパー2 (仮)	○	○		○
62	人B	一般	TEAMビレッジトップ	ショーゾー君	○	○	○	
63	人B	一般	GLラボ	Ve-Skull(ガイスカル)	○			○
64	人B	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	○	○	○	
65	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ2号	○	○		○
66	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ3号	○	○		○
67	人B	一般	TEAM MEW	MEW 06	○	○		○
68	人B	一般	TEAM MEW	MEW 2	○	○		
69	人B	一般	ひょうたん島	エスペラン	○	○	○	
70	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-01	○	○		○
71	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-02	○	○		○
72	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-03	○	○		○
73	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-04	○	○		○
出場艇数					28	17	7	19

## 5. 大会プログラム

7月21日（金） 清水港マリパーク

- ・ 08:00～17:00 大会準備、受付・船体検査、  
大会告知（デモンストレーション走行）

7月22日（土） 三保内浜海水浴場

- ・ 08:00～09:00 受付・船検
- ・ 09:00～09:30 開会式
- ・ 10:30～12:00 ショートレース予選ラウンド（100m）
- ・ 12:00～13:00 昼休み・イベント
- ・ 13:00～15:00 ショートレース決勝ラウンド（200m）
- ・ 16:30～17:30 アトラクション：地引網
- ・ 18:00～19:30 ウェルカム・パーティ
- ・

7月23日（日） 三保内浜海水浴場

- ・ 09:45～10:00 1周スラロームレース
- ・ 11:30～12:30 30分耐久周回レース\*
- ・ 12:30～13:00 昼休み・イベント
- ・ 14:00～15:00 表彰・閉会式

\*当日の天候条件により、1時間耐久レースは30分に短縮され、  
30分耐久レースに統合されて実施された。

## 6. レース結果

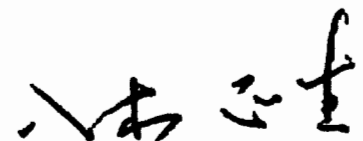
### 200mSpeed レース予選 (100m タイムトライアル)

順位	艇番	クラス	部門	チーム名	艇名	タイム
1	4	ソA	一般	ローランドソーラー研究会	SOLAND	00:12.99
2	2	ソA	一般	都田チャレンジ	WHITE HAWK S-12	00:14.00
3	42	人A	一般	チーム コギト	COGITOR 2006	00:15.25
4	3	ソA	一般	JRCソーラーボートチャレンジの会	そうらのむべい 2006	00:18.14
5	24	ソB	一般	吉田山コケターズ	波に呑れII	00:19.00
6	41	人A	学生	長崎総合科学大学 夢の船研究会・人力水中翼船部門	West Gale 06	00:20.05
7	62	人B	一般	TEAMビレッジトップ	ショーゾー君	00:20.94
8	45	人A	学生	忠南大学人力ボートチーム(韓国)	「エピソード2006」	00:21.49
9	25	ソB	学生	鳥栖工業高校	MOTO I	00:21.86
10	67	人B	一般	TEAM MEW	MEW 06	00:23.54
11	26	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2004	00:26.02
12	1	ソA	学生	金沢工業大学夢考房ソーラーボートプロジェクト ソーラーボートレーシング	Golden Eagle 2006	00:28.47
13	64	人B	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	00:30.33
14	69	人B	一般	ひょうたん島	エスペラン	00:30.77
15	65	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ2号	00:31.43
16	70	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-01	00:31.68
17	68	人B	一般	TEAM MEW	MEW 2	00:33.50
18	21	ソB	学生	東海大学地球環境工学ソーラーボートチーム	トウカイスピリットII	00:34.41
19	71	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-02	00:36.33
20	63	人B	一般	GLラボ	Ve-Scull(グイスカル)	00:36.75
21	23	ソB	学生	静岡理工科大学 Shizuoka All-round Technology	knife edge(ナイフエッジ)	00:39.04
22	72	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-03	00:42.63
23	27	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2005Mebius II	00:43.73
24	73	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-04	00:45.94
25	61	人B	一般	SWING ROLL FLIPER	フリッパー2 (仮)	01:00.41
26	66	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ3号	01:26.01
27	43	人A	学生	金沢工業大学夢考房ボートプロジェクト 4-A H. S. F. C.	海月(かいげつ)	DNS
28	44	人A	学生	ボートに首っだけ	BBB(スリバー)	DNS

2006/7/23 20:15

競技部会長

八木 正生





## 200mSpeed レース最終順位

順位	艇番	クラス	部門	チーム名	艇名	タイム
1	4	ソA	一般	ローランドソーラー研究会	SOLAND	00:39.15
2	42	人A	一般	チーム コギト	COGITOR 2006	00:40.63
3	2	ソA	一般	都田チャレンジ	WHITE HAWK S-12	00:47.79
4	3	ソA	一般	JRCソーラーボートチャレンジの会	そうらのむべい 2006	00:49.65
5	24	ソB	一般	吉田山コケターズ	波に吞れII	00:53.12
6	41	人A	学生	長崎総合科学大学 夢の船研究会・人力水中翼船部門	West Gale 06	01:35.80
7	26	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2004	01:02.91
8	25	ソB	学生	鳥栖工業高校	MOTO I	01:03.76
9	62	人B	一般	TEAMビレッジトップ	ショーゾー君	01:04.15
9	45	人A	学生	忠南大学人力ボートチーム(韓国)	「エピソード2006」	01:04.15
11	67	人B	一般	TEAM MEW	MEW 06	01:13.91
12	1	ソA	学生	金沢工業大学夢考房ソーラーボートプロジェクト ソーラーボートレーシング	Golden Eagle 2006	01:10.60
13	69	人B	一般	ひょうたん島	エスペラン	01:16.64
14	64	人B	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	01:21.87
15	65	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ2号	01:45.96
16	70	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-01	02:18.64
17	63	人B	一般	GLラボ	Ve-Scul(ヴェイスクル)	01:34.91
18	21	ソB	学生	東海大学地球環境工学ソーラーボートチーム	トウカイスピリットII	01:37.18
19	71	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-02	01:54.21
20	23	ソB	学生	静岡理科大学 Shizuoka All-round Technology	knife edge(ナイフエッジ)	02:00.35
21	68	人B	一般	TEAM MEW	MEW 2	DNF
22	73	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-04	01:47.73
23	61	人B	一般	SWING ROLL FLIPER	フリッパー2 (仮)	02:46.47
24	66	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ3号	03:10.43
25	72	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-03	DNF
26	27	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2005Mebius II	DNF

2006/7/23 19:41

競技部会長

八木 正生

八木 正生

## 一周スラローム レース

順位	艇番	クラス	部門	チーム名	艇名	タイム
1	2	ソA	一般	都田チャレンジ	WHITE HAWK S-12	02:43.85
2	62	人B	一般	TEAMビレッジトップ	ショーゾー君	04:14.55
3	42	人A	一般	チーム コギト	COGITOR 2006	04:15.20
4	67	人B	一般	TEAM MEW	MEW 06	04:45.30
5	41	人A	学生	長崎総合科学大学 夢の船研究会・人力水中翼船部門	West Gale 06	04:53.11
6	64	人B	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	04:59.71
7	69	人B	一般	ひょうたん島	エスペラン	05:06.53
8	68	人B	一般	TEAM MEW	MEW 2	05:11.74
9	71	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-02	05:23.38
10	65	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ2号	05:26.72
11	70	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-01	05:36.23
12	72	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-03	05:45.02
13	73	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-04	06:03.97
14	45	人A	学生	忠南大学人力ボートチーム(韓国)	「エピソード2006」	07:33.76
	61	人B	一般	SWING ROLL FLIPER	フリッパー2 (仮)	DNF
	66	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ3号	DNF
	44	人A	学生	ボートに首っただけ	BBB(スリバー)	DNS

2006/7/23 19:38

競技部会長

八木 正生

八木 正生

## 一時間耐久&30分混合 レース(総合順位)

順位	艇番	クラス	部門	チーム名	艇名	周回	タイム
1	2	ソA	一般	都田チャレンジ	WHITE HAWK S-12	6	27:18.55
2	3	ソA	一般	JRCソーラーボートチャレンジの会	そうらのむべい2006	6	29:33.94
3	1	ソA	学生	金沢工業大学夢考房ソーラーボートプロジェクト ソーラーボートレーシング	Golden Eagle 2006	6	29:34.13
4	62	人B	一般	TEAMビレッジトップ	ショーゾー君	6	29:51.83
5	25	ソB	学生	鳥栖工業高校	MOTO I	6	30:10.75
6	42	人A	一般	チーム コギト	COGITOR 2006	6	30:40.66
7	67	人B	一般	TEAM MEW	MEW 06	5	27:22.68
8	69	人B	一般	ひょうたん島	エスペラン	5	27:26.19
9	4	ソA	一般	ローランドソーラー研究会	SOLAND	5	27:42.63
10	64	人B	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	5	28:44.51
11	27	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2005Mebius II	5	28:57.63
12	41	人A	学生	長崎総合科学大学 夢の船研究会・人力水中翼船部門	West Gale 06	5	29:37.85
13	24	ソB	一般	吉田山コケターズ	波に吞れII	5	30:24.78
14	70	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-01	5	31:19.30
15	65	人B	学生	相川学園静清工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ2号	5	31:27.50
16	71	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-02	4	28:29.90
17	63	人B	一般	GLラボ	Ve-Scull(ヴァイスクル)	4	29:43.00
18	23	ソB	学生	静岡理工科大学 Shizuoka All-round Technology	knife edge(ナイフエッジ)	4	29:57.56
19	45	人A	学生	忠南大学人力ボートチーム(韓国)	「エピソード2006」	4	33:07.06
20	21	ソB	学生	東海大学地球環境工学ソーラーボートチーム	トウカイスピリットII	4	33:31.81
21	72	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-03	3	19:40.13
22	73	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-04	2	16:37.46
	61	人B	一般	SWING ROLL FLIPER	フリッパー2 (仮)		DNF
	44	人A	学生	ボートに首ったけ	BBB(スリピー)		DNF
	66	人B	学生	相川学園静清工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ3号		DNS
	26	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2004		DNS

2006/7/23 20:14

競技部会長

八木 正生

八木 正生

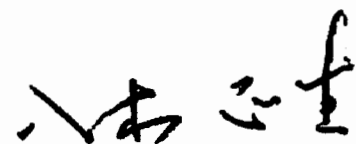
一時間耐久&30分混合 レース (30分エントリー艇)

順位	艇番	クラス	部門	チーム名	艇名	周回	タイム
1	62	人B	一般	TEAMビレッジトップ	ショーゾー君	6	29:51.83
2	42	人A	一般	チーム コギト	COGITOR 2006	6	30:40.66
3	69	人B	一般	ひょうたん島	エスペラン	5	27:26.19
4	64	人B	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	5	28:44.51
5	45	人A	学生	忠南大学人力ボートチーム(韓国)	「エピソード2006」	4	33:07.06
6	21	ソB	学生	東海大学地球環境工学ソラーボートチーム	トウカイスピリットII	4	33:31.81
	44	人A	学生	ボートに首っただけ	BBB(スリピー)		DNF

2006/7/23 20:16

競技部会長

八木 正生



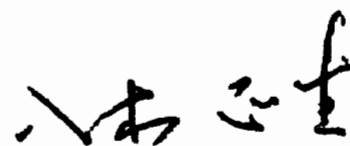
一時間耐久&30分混合 レース(一時間エントリー艇)

順位	艇番	クラス	部門	チーム名	艇名	周回	タイム
1	2	ソA	一般	都田チャレンジ	WHITE HAWK S-12	6	27:18.55
2	3	ソA	一般	JRCソーラーボートチャレンジの会	そうらのむべい 2006	6	29:33.94
3	1	ソA	学生	金沢工業大学夢考房ソーラーボートプロジェクト ソーラーボートレーシング	Golden Eagle 2006	6	29:34.13
4	25	ソB	学生	鳥栖工業高校	MOTO I	6	30:10.75
5	67	人B	一般	TEAM MEW	MEW 06	5	27:22.68
6	4	ソA	一般	ローランドソーラー研究会	SOLAND	5	27:42.63
7	27	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2005Mebius II	5	28:57.63
8	41	人A	学生	長崎総合科学大学 夢の船研究会・人力水中翼船部門	West Gale 06	5	29:37.85
9	24	ソB	一般	吉田山コケターズ	波に吞れ II	5	30:24.78
10	70	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-01	5	31:19.30
11	65	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ2号	5	31:27.50
12	71	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-02	4	28:29.90
13	63	人B	一般	GLラボ	Ve-Scull(ガイスカル)	4	29:43.00
14	23	ソB	学生	静岡理工科大学 Shizuoka All-round Technology	knife edge(ナイフエッジ)	4	29:57.56
15	72	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-03	3	19:40.13
16	73	人B	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2006-04	2	16:37.46
	61	人B	一般	SWING ROLL FLIPER	フリッパー2 (仮)		DNF
	66	人B	学生	相川学園静岡工業高校人力ボート研究会	スカイフィッシュ3号		DNS
	26	ソB	学生	ECO-Ship Project	TESP-X2004		DNS

2006/7/23 20:16

競技部会長

八木 正生



## 耐久レース周回ラップ

順位	艇番	クラス	部門	チーム名	周回	最終 タイム	最高 ラップ	1	2	3	4	5	6
1	2	ソA	一般	都田チャレンジ	6	27:18.55	03:47.72	03:59.68	04:01.95	04:54.64	05:58.99	04:35.57	03:47.72
2	3	ソA	一般	JRC ソーラーボート チャレンジの会	6	29:33.94	04:45.22	05:23.03	04:45.22	04:52.39	04:45.79	04:53.99	04:53.52
3	1	ソA	学生	金沢工業大学 夢考房 ソーラーボートプロジェクト ソーラーボート レーシング	6	29:34.13	04:35.59	05:26.63	05:00.99	04:35.59	04:52.60	04:53.21	04:45.11
4	62	人B	一般	TEAM ビレッジトップ	6	29:51.83	04:41.81	05:55.53	04:41.81	04:53.68	04:49.00	04:45.89	04:45.92
5	25	ソB	学生	鳥栖工業高校	6	30:10.75	04:30.43	05:10.05	04:30.43	05:27.61	05:04.40	04:52.24	05:06.02
6	42	人A	一般	チーム コギト	6	30:40.66	04:55.64	05:25.26	05:13.97	05:03.69	05:02.60	04:55.64	04:59.50
7	67	人B	一般	TEAM MEW	5	27:22.68	05:24.65	05:24.65	05:36.40	05:26.92	05:29.46	05:25.25	
8	69	人B	一般	ひょうたん島	5	27:26.19	05:22.84	05:24.65	05:22.84	05:27.52	05:34.04	05:37.14	
9	4	ソA	一般	ローランド ソーラー研究会	5	27:42.63	04:19.98	05:12.75	04:19.98	04:28.42	05:06.09	08:35.39	
10	64	人B	一般	FRPが固まらん チーム	5	28:44.51	05:28.78	06:08.13	05:43.53	05:28.78	05:42.12	05:41.95	
11	27	ソB	学生	Eco-Ship Project	5	28:57.63	04:39.06	06:06.01	06:08.29	05:49.95	06:14.32	04:39.06	
12	41	人A	学生	長崎総合科学大学 夢の船研究会 人力水中翼船部門	5	29:37.85	05:45.53	05:54.03	06:00.98	05:59.23	05:58.08	05:45.53	
13	24	ソB	一般	吉田山コケターズ	5	30:24.78	05:08.90	07:54.39	06:25.31	05:36.35	05:08.90	05:19.83	
14	70	人B	学生	Eco-Ship Project	5	31:19.30	05:59.65	07:03.92	06:04.77	06:00.85	06:10.11	05:59.65	
15	65	人B	学生	相川学園静清工業高校 人力ボート研究会	5	31:27.50	06:08.52	06:08.52	06:12.05	06:16.37	06:37.77	06:12.79	
16	71	人B	学生	Eco-Ship Project	4	28:29.90	06:47.21	07:24.95	06:58.40	06:47.21	07:19.34		
17	63	人B	一般	G.L.Rボ 静岡理工科大学	4	29:43.00	07:08.99	07:19.59	07:08.99	07:27.49	07:46.93		
18	23	ソB	学生	Shizuoka All-round Technology	4	29:57.56	07:17.84	07:39.27	07:24.24	07:36.21	07:17.84		
19	45	人A	学生	忠南大学 人力ボートチーム (韓国)	4	33:07.06	07:48.50	08:24.62	07:48.50	08:15.50	08:38.44		
20	21	ソB	学生	東海大学 地球環境工学 ソーボートチーム	4	33:31.81	08:06.48	08:34.46	08:06.48	08:10.57	08:40.30		
21	72	人B	学生	Eco-Ship Project	3	19:40.13	06:24.17	06:40.12	06:35.84	06:24.17			
22	73	人B	学生	Eco-Ship Project	2	16:37.46	07:54.61	08:42.85	07:54.61				

## クラス別上位3艇

スプリント	ソーラーA	ソーラーB	人カA	人カB
14	ローランド ソーラー研究会	24 吉田山コケターズ	42 チーム コギト	62 TEAMビレッジトップ
22	都田チャレンジ	26 ECO-Ship Project	41 長崎総合科学大学 夢の船研究会・ 人カ水中翼船部門	67 TEAM MEW
33	JRCソーラーポート チャレンジの会	25 鳥栖工業高校	45 忠南大学 人カポートチーム(韓国)	69 ひょうたん島
一周スラローム				
12	都田チャレンジ		42 チーム コギト	62 TEAMビレッジトップ
2			41 長崎総合科学大学 夢の船研究会・ 人カ水中翼船部門	67 TEAM MEW
3			45 忠南大学 人カポートチーム (韓国)	64 FRPが固まらんチーム
30分耐久				
1		20 東海大学地球環境工学 ソーラーポートチーム	42 チーム コギト	62 TEAMビレッジトップ
2			45 忠南大学 人カポートチーム(韓国)	69 ひょうたん島
3				64 FRPが固まらんチーム
一時間耐久				
12	都田チャレンジ	25 鳥栖工業高校	41 長崎総合科学大学 夢の船研究会・ 人カ水中翼船部門	67 TEAM MEW
23	JRCソーラーポート チャレンジの会	27 ECO-Ship Project		70 ECO-Ship Project
31	金沢工業大学 夢考房 ソーラーポートプロジェクト ソーラーポート レーシング	24 吉田山コケターズ		65 相川学園 静岡工業高校 人カポート研究会

学生部門優勝艇    人カ部門優勝    41 長崎総合科学大学 夢の船研究会・人カ水中翼船部門  
 学生部門優勝艇    ソーラー部門優勝    25 鳥栖工業高校

# 7. 大会風景写真

## デモ走行風景(マリンパーク)



人工海浜のゾーニング



韓国チームのデモ走行



人力水中翼ボートのデモ走行



ソーラー水中翼ボートのデモ走行



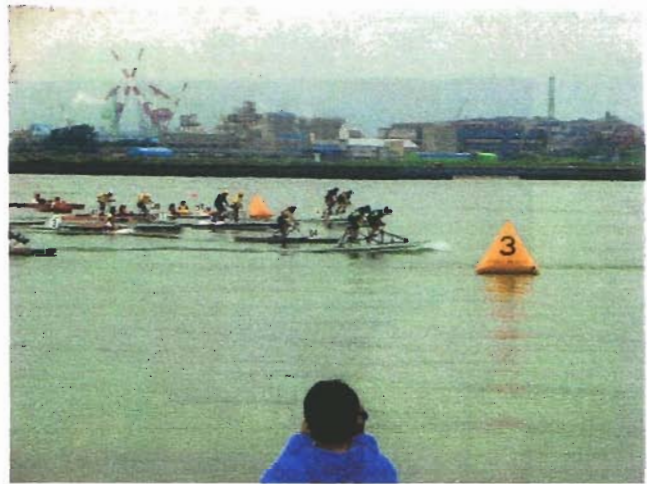
NHK ニュースインタビュー



# レース風景(内浜海水浴場)



スタート 20秒前 !



スタート !



マーク回航



マーク回航



韓国チームの学生



レース風景

## 表彰・閉会式（内浜海水浴場）



各クラスの優勝チーム



賞状授与



遠来の韓国チームに記念品贈呈

はじめに

2002年の広島大から続いてきた人力船の日韓交流も今年で5年目。今回は残念ながら日本からの参加チームはなし。それでもこうした国際交流は継続が大事と考え、会社の夏休みを1日半も繰り上げて単身日本をあとにしました。ルートは去年と同じく中部国際空港から ソウル(仁川空港)経由の大田入りです。もうすっかり慣れた旅で、特に皆さんにお伝えする失敗談もありません(笑)。宿泊も去年泊ったスパピアでした。

参加チームの紹介

テジョンでの大会についてはすでに3回ご報告しており、今年の大会もほぼ例年通りの日程で実施されましたので、その辺は省略し、今回の報告では、今まであまり踏み込まなかった韓国大学チームの内幕に鋭く？迫ってみたいと思います。まずは主なチームの紹介から：

1. 忠南大学「エピソード」チーム

ご存知、韓国的人力ボート界の中心人物「金炯太(キム・ヒョンデ)」先生が率いる最古参チームですが、最近是他大学チームの激しい追い上げにあって過去の常勝ペースにかげりが見えてきた感があります。ただし、大会の運営は一貫して忠南大の学生自治会が担当して来まして、このチームなしには韓国的人力船は語れないところです。今年も200mレースでは釜山大に1秒及ばず2位、スラロームでも3位と健闘して、総合3位を獲得しました。また、釜山大と並んで初めてのソーラーボートを参加させています。



忠南大学 「エピソード 2006」

2. 釜山大学「ドロシー」チーム

ここ2, 3年急速に力をつけて今では実力 No.1 といっているいいチームで、一昨年に総合優勝していますが、広島大に留学した「金文燦(キム・ムンチャン)」先生の指導を受け、今年も200m1 位、スラローム1位、今年から始まった3000m耐久レースでも5位に入って、総合優勝を勝ち取っています。200m 38秒というスピードはスタンディングスタートの記録としてはかなり優秀で、今年のコギトのタイムをも凌駕しています。去年の佐鳴湖大会で余ったバッテリーをプレゼントしたところ、今年の大会にそのバッテリーを利用してソーラーボートを作り上げて人力と2 隻で参加しました。



釜山大学 「ドロシー」

### 3. 木浦海洋大学 「ノジョクボン」 チーム

ここも釜山、仁荷と並んで最近めきめき成績を上げてきたチームのひとつで、去年は仁荷大と総合優勝を分け合い、今年もスラロームで2位、200mは6位、3000mでも2位で、総合2位でした。このチームはもう1隻、3000m耐久レースで優勝した「Wing+」という船も出しています。



木浦海洋大学 「ノジョクボン」

「Wing+」

### 4. ソウル大学 「ポセリア」 チーム

首都ソウルにある名門大学で3、4年前までは忠南大と優勝争いをしていました。最近学内の体制が代わって人力船への大学側のサポートが少し弱まったようです。ただ忠南大の金先生から聞いた話では、この大会の開催地を将来ソウルに移す計画もあるようで、そのときにはソウル大学が主管することもありそうです。今年の成績は、200mが4位、スラロームが7位でした。



ソウル大学 「ポセリア フィナーレ」

## 5. 仁荷(インハ)大学「飛龍(ピリオン)」チーム

去年の大会で古豪忠南大学、気鋭の釜山大学チームを破って、木浦海洋大学とともに総合1位の栄誉に輝いた仁荷(インハ)大学。ここも2隻の参加で、成績は飛龍が、3位と5位、もう1隻の1人乗り「ソウル・オブ・スピード」も8位と4位で、コンスタントな成績を上げています。



仁荷(インハ)大学 「飛龍(ピリオン)」



「ソウル・オブ・スピード」

これら上位チーム以外にも、蔚山大学「ムンスー」チーム、木浦大学「NMP」チーム、釜慶大学「エライム」チーム、朝鮮大学チームなどが、毎年参加しています。

今年の参加チームの印象ですが、艇のデザインが去年以上にコギト型に集約されてしまった感があり、先生方の間でも問題になっているようです。去年まで参加していた空中プロペラボート等のユニークなデザインが姿を消していたのは残念です。今年の新規なデザインは仁荷大の3人乗り艇「スティング」で、設計賞を受賞していました。



釜慶大学 「エライム」



仁荷大の3人乗り艇「スティング」

艇の性能は去年より6秒以上速くなって水中翼ボートの最高タイムは釜山大学「Dorothy2006」の38.0秒(200m)でした。去年メカニカルトラブルで不本意な結果に終わったドロシーでしたが、今年は見事雪辱を果たしました。

今大会のトピックスはやはり2隻のソーラーボートで、細かな点ではまだまだ改良の余地が目につきますが去年東海大のソーラーボートを見てわずか1年で、独自のボートをまとめ上げた力はたいしたものです。

ここで2隻のボートをざっと紹介しますと、どちらもソーラーパネルは韓国産の家庭用太陽光発電キットを使用しており、頑丈な枠のために重量がかなり重くなっています。音も立てずにスイスイ走る姿とスムーズな旋回性能は参加者の注目を集めていました。



釜山大学 「ソーラー-X」



忠南大学 「エピソード ソーラー」

## 成績

以上、参加各艇の紹介をしましたが、今年の大会の成績は下表のとおりです。

### Participating Teams in HPVF 2006 学生参加艇と総合順位

1. NMP No. 1 (Mokpo Univ.木浦大)		12. Piryong 飛龍 2006 (Inha Univ.仁荷大)	
3. WING+ (Mokpo Univ.木浦大)		13. Soul of Speed (Inha Univ.仁荷大)	
4. Nojukbong 8 (Mokpo Maritime Univ.木浦海洋大)	2位	14. Nartur 2006 (Chosun Univ.朝鮮大)	
5. Nare (Bugyong Univ. 釜慶大)		15. Kaon 2006 (Chosun Univ.朝鮮大)	
6. Dorothy (Pusan National Univ.釜山国立大)	1位	16. Episode 2006 (Chungnam National Univ.忠南国立大)	3位
7. solar-X (Pusan National Univ.釜山国立大)		17. Episode solar (Chungnam National Univ.忠南国立大)	
8. Poseria Final (Seoul Nationa Univ.ソウル国立大)		18. Hanur 船 (Korea Maritime Univ.韓国海洋大)	
9. Munsu 2006 (Ulsan Univ.蔚山大)		19. ICARUS evo (Hong Iku Univ. 弘益大)	
10. Dagungbari 1 (Inha Technical Collage 仁荷工業専門大)		20. SHARKY (Korea Naval Academy 韓国海軍士官学校)	
11. Sting 2006 (Inha Technical Collage 仁荷工業専門大)			

注：忠南大学ソーラーボートチーム、釜山大学ソーラーボートチームはエキジビション参加

韓国HPVFのホームページ: <http://hpv.cnu.ac.kr>

## 新たな大会会場候補地のご紹介

J S H A大会の候補地として、今年の清水、従来からの浜名湖、佐鳴湖、天竜に加えて今回新しく、マリンスポーツ財団の紹介で愛知県碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターの施設を視察してきたので報告します。

この施設は碧南市の油ヶ淵という沼のほとりにあり、競艇選手のスタート訓練に利用されている他、一般にも開放され、ヨット、カヌー、水上オートバイ等のイベントも開催されています。

施設には100人位が泊まれる宿泊棟や、整備棟、駐車場、芝生広場があり、水面には常設のポンツーン、コースブイが設置されていて、J S H A大会に必要なインフラは整っているといます。宿泊棟は1泊2食で¥5100、3食つきで¥5800と割安です。



宿泊棟



手前から：駐車場、芝生、整備棟

船の上げ下ろしは整備棟からホイストクレーンで吊り上げて土手を越えてポンツーンのところまで移動させる方式です。整備棟と水面の間には幅4Mほどの公道があり、船はこの公道の上を横断することになります。

吊り上げが難しい船は人力で持ち運んでポンツーンまで運ぶことになりそうです。

ポンツーンはかなり長く、スペースもあるので、その上に船を置いておくことも出来そうです。公道からポンツーンへの入り口には施錠できる扉があり、保安上の配慮もされています。



ポンツーンから整備棟を見る



公道とポンツーン

水域は全周をブイで囲われていて、その内側に浜名湖競艇場と同様のターンマークがあります。広さは公道沿いに長さ500メートル位、次ページの写真の右手辺りは幅200メートルくらい、左手の辺りは幅100メートル位の台形で、浜名湖競艇場というスタート地点の幅がやや狭いといえます。

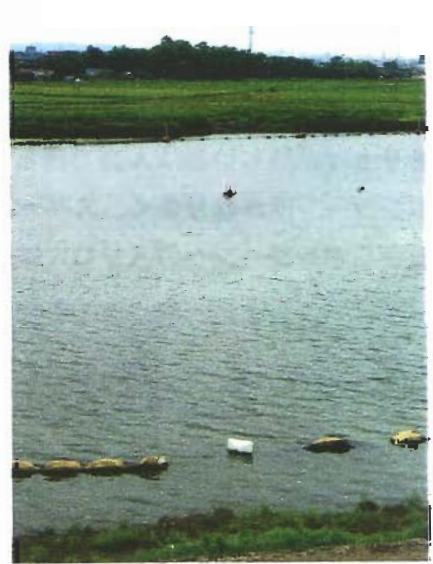
水域内は競艇場と同じく指定されているので、免許、検査なしでソーラーボートの走行が可能です。



水域全体の眺め



ポンツーンからコースを見る



コースの左側は奥行きが狭い

施設側でも一般の利用率をあげることに力を入れているようで、夏場はすでにほとんど予約済みのようですが、8月24日（金）～26日（日）はまだ空いているとのこと。

施設をざっと見た印象では、スタートマーク側の幅が狭いのと、ホイストクレーンでの船の上げ下ろしが若干問題となりそうですが、工夫すれば解決方法はありそうです。

勤労青少年水上スポーツセンター

愛知県碧南市湖西町5丁目29

TEL : 0566-48-1110